

一宮市社会福祉協議会

いちのみの

社会福祉

No.60

2025
2月号

福祉のまちづくり
(6月・10月・2月発行)



ユニバーサルスポーツ体験交流会(P2)
※昨年のように

トピックス

- 「地域のお宝発表会」開催のお知らせ……………P3
- 支えあい通信「あいみんテラス」……………P4
- 学校の福祉活動紹介「一宮起工科高等学校」……………P5
- 赤い羽根作品コンクール入賞者紹介……………P8・9
- 社会福祉大会被表彰者紹介……………P10
- 新入職員企画「障害者就業・生活支援センターすろーぷにインタビュー!」…P13

一宮でユニバーサルスポーツを体験しよう!

ボッチャ



シッティング
バレーボール



★NEW★
モルック



今年はこの3種目が体験できます

モルックとは、フィンランド発祥のスポーツで木製の棒を投げて12本あるピンの倒れ方で採点するスポーツです

ユニバーサルスポーツ体験交流会

- 日 時 3月15日(土)10:00~12:00【受付9:30~】
会 場 いちい信金中央アリーナ(いちのみや中央プラザ体育館)
(野口1-6-22)
定 員 80名程度(申込多数の場合は抽選)
対 象 市内在住・在勤・在学の方
内 容 スポーツの体験を通じて交流
(ボッチャ、シッティングバレーボール、
モルック)
参 加 費 無料
申 込 み 2月20日(木)までに下記URLまたは右記二次元コードから
ご応募ください。
URL <https://forms.gle/yPKrif6irHzjKuJeA>
電話や申込書持参の場合は同日17:15まで(Tel.85-7024)
※申込書は本会ウェブサイトからダウンロードできます。
そ の 他 動きやすく、汚れても良い服装でお越しください。

ユニバーサルスポーツは
運動が苦手でも一緒に楽しめる!
みんなで協力して盛り上げよう!



ユニバーサルスポーツの紹介

ボッチャ

ユニバーサルスポーツ体験交流会の実施種目でもある「ボッチャ」で重要なのは、先攻チームが投じる「的」となる球(ジャックボール=白色)です。その位置によって、まったく異なる展開が生まれるという面白さがあります。ボールの投げ方は自由であるため、はじめのうちは強さや方向、転がり方をつかめないことがあるかもしれません。ボッチャではジャックボールにより近く投げたチームの勝ちになります。しかし、両チームが持ち球を投げ終えるまで、勝敗は決まりません。参加しやすい投げ方を選ぶことができ、最後の1球まで楽しめるボッチャを、交流会でぜひ体験してください。

地域のお宝発表会



一宮市内で支え合い研修などを開催し「普段の生活」に溶け込んでいる福祉サービスではない、住民同士の支え合い活動(地域のお宝)を取材してきました。

その地域のお宝を発表するとともに、まだまだ一宮市内にきっとある地域のお宝を探していくために発表会を開催します。

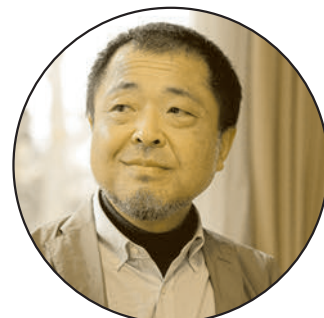
日時 3月23日(日)13:00～16:00 (12:30開場)
会場 尾州ファッションデザインセンター 1階 展示ホール
(大和町馬引字南正亀4-1)

内容 ①講演
「地域のお宝とは」
講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏
②お宝紹介

参加対象 地域の中で既に支え合い活動をしている方、
何か始めたいと思っけていても何から始めて良いのか分からない方など、
どなたでも参加可能です。
「地域」「支え合い」「お宝」というワードに関心がある方は、ぜひご参加
ください。

参加費 無料

申込み 3月7日(金)までに下記URLまたは右記二次元コードから申込みください。
電話の場合は、同日17:15まで (TEL85-7024)
URL <https://forms.gle/g3FquKj4JUaLedG5A>



地域のお宝ってどんな方法でみつけるの？

今回の地域のお宝発表会では、今まで支え合い研修を実施した連区で取材をしてきたお宝を、市内全体で共有できるようご紹介したいと思います。どのように地域のお宝が発掘されてきたのか経過をお伝えします。



① 支え合い研修の実施

(研修の中で支え合いの活動の情報収集を行います。)



地域での活動を、付箋に貼って話し合います。



② お宝情報の発掘・取材

(教えてもらった情報を基に取材に伺います。)



防犯パトロール前の打合せや、友人との集まりが見守り活動につながります。



③ 連区内でのお宝発表(情報の共有)

(取材した内容を共有します。)



活動を知ること、新たなお宝の発掘につながることも・・・

支えあい通信



今回の支えあい通信では心の居場所活動をされている「一般社団法人あいみんテラス」の代表理事である片山さんにお話を伺いましたので紹介します。

【一般社団法人あいみんテラスとは...】

一宮市向山連区にある松鶴寺を母体に、住職である私が、ひとり親や生活困窮者、地域社会のため、お寺を広く活用したいとの思いで設立しました。フードバンク・子ども食堂・心の居場所などの活動を行っています。



代表理事：片山清顕さん

【「心の居場所」活動を始めたきっかけ】

居場所には、物理的に「自分がいる場所」、心理的に「自分が安心していられる場所」といったさまざまな意味があります。特に心理的な居場所という意味で「自分が安心していられる場所」は人間誰しもが必要だと考えています。

しかし、心が風邪を引いていたり、学校・家庭・会社等に安心していられる居場所ができないという方が大勢いることを、あいみんテラスの活動を通して知りました。そこで、「ありのままの自分でいられる居場所＝心の居場所」を作ろうと思い活動を始めました。

【活動にあたって】

一宮市社会福祉協議会や一宮市精神障がい者家族会「びわの会」の皆さんと打合せを重ね、2024年9月からあいみんの家(心の居場所)を立ち上げ、活動をしています。参加者はまだまだ少ないですが回を重ねるごとに増えており、居場所の大切さを実感しています。また、特定非営利活動法人一宮まごころ、不登校親の会ループ、就労継続支援B型事業所キャリアクー宮駅前さんの皆さんにも運営にご協力をいただいています。



【「あいみんの家(心の居場所)」の内容】

開催日には、内職や読書などのお好きな趣味を楽しむ時間にしていただくと良し、お友達やスタッフ、また住職とお話をするも良し、悩み事があれば福祉の相談員が相談に乗ってくれます。開催ごとにお立ち寄りの方が増えておりますが、事前の予約はいりませんし、途中からお越しいただいても、途中で帰りになられても大丈夫です。

開催日時 毎月第2火曜日13:30～15:30

会場 松鶴寺(北園通3-15)

参加費 100円



【最後に】

心が疲れてしまったと思う方が、ふらっと立ち寄れる居場所を目指しています。ぜひ、お気軽にお越しください。また、詳細につきましてはあいみんを家のウェブサイトをご覧ください。→https://aiminterasu.net/aiminnoie_top/



愛知県立一宮起工科高等学校(全日制)には5つの学科(ロボット工学科、機械科、電子工学科、環境科学科、デザイン科)があり、それぞれの特色を生かして、地域でも活動をされています。今回は各学科の活動内容等について紹介します。

びさいまつり・おいち祭りへのブース出展

本校は毎年、びさいまつりやおいち祭りにブースを出展させていただき参加しています。

この活動は生徒たちが日頃から学んでいる内容を生かして、地域に貢献したいという気持ちや、ものづくりの楽しさを地域の方に知ってもらいたいという思いから始まりました。内容は年によって変わることもありますが、びさいまつりには4つの学科が参加し、ロボット工学科では「e スポーツ体験」、機械科では「キーホルダー制作」、電子工学科では「カレンダーシート制作」、デザイン科では「似顔絵制作」で出展しました。



ロボット工学科「eスポーツ体験」



機械科「キーホルダー制作」



電子工学科「カレンダーシート制作」



デザイン科「似顔絵制作」

おいち祭りには環境科学科が「楽しい化学実験」と題して、スーパーボールロケットや、つまめる水を作るという内容で出展しました。また、本校の吹奏楽部もおいち祭りで演奏をさせていただきました。吹奏楽部は日頃の練習の成果発表と地域の方に楽しんでほしいということから、おいち祭りだけではなく、さまざまな場所で演奏活動を行っています。



環境科学科「楽しい化学実験」



吹奏楽部の演奏



デザインアート

デザインアートについて

本校のデザイン科ではイオンモール木曽川とコラボさせていただき、ハロウィンの時期にデザインアートを展示しています。この活動は上記のブース出展と同様に、生徒たちが日頃から学んでいる内容を生かし、地域の活性化の一助になればとの思いで、地域貢献の一環として取り組んでいます。

取材を終えて・・・

一宮起工科高等学校(全日制)では専門的な知識を学びながら、それを生かした地域への貢献活動をされていることが分かりました。今後も、ものづくりの楽しさを地域に広げていただき、ぜひまたお話を聞かせていただきたいと思います。

【災害に備えて】市内ライオンズクラブと協定を締結しました!

2024年12月18日(水)、市内4つのライオンズクラブと「災害ボランティアセンター支援に関する協定」を締結し、調印式を一宮商工会議所で行いました。

本協定は、市内で大規模災害が発生して、被災者の生活復旧・復興にむけて「災害ボランティアセンター」を設置した際に、より効果的・効率的な支援と円滑な相互協力ができるようにすることを目的に締結いたしました。

調印式当日は署名だけでなく、現在も被災地支援に入られている会員様方と情報交換を行うこともできました。

発災後、速やかに支援体制が図れるよう、今後も定期的な意見交換を続けてまいります。



講座受講者募集!



傾聴ボランティア養成講座(全3回)

傾聴の技術について学び、施設や個人宅での傾聴ボランティア活動に参加してみませんか?

日 時	2月27日(木)、3月6日(木)、3月13日(木) 13:00~16:00
会 場	社会福祉協議会 大和事務所 会議室(大和町宮地花池字中道9-16)
対 象	市内在住または在勤で傾聴ボランティアに関心がある方 全日程参加できる方
定 員	40名(応募多数の場合は抽選)
受 講 料	無料
申 込 み	2月10日(月)まで 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/AHyw58ELERSrDP5Y6 電話でも申込みできます。



視覚障害者ガイドヘルプ講習会

視覚障害者の日常生活支援であるガイドヘルプについて学んでみませんか?

日 時	3月4日(火) 10:00~15:00
会 場	社会福祉協議会 本部(栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階)
対 象	市内在住または在勤で視覚障害者福祉に関心があり、受講後はボランティア活動を希望される方
定 員	20名(応募多数の場合は抽選)
受 講 料	無料(ただし、昼食代700円、体験交通費380円が必要です)
申 込 み	2月14日(金)まで 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/T5Zi655Kfo4DL2pGA 電話でも申込みできます。



一宮市の福祉を支える社協会員に

社協の活動財源は、市からの補助金・受託金のほか、社協会費や赤い羽根共同募金配分金、善意のご寄付など、皆さまからのご支援・ご協力に支えられています。

納入いただいた会費は、各連区に設置している地区社会福祉協議会(支会)に全て分配され、それぞれの実情に合わせた地域福祉推進のために活用されます。

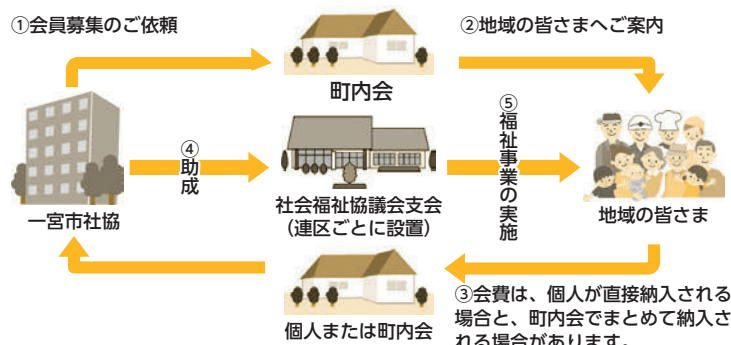
「誰もが安心して暮らせる、人にやさしい福祉のまちづくり」を目指して、今後もさまざまな事業に取り組み、皆さまとともに一宮市の地域福祉を推進してまいりますので、社協の活動にご理解ご協力をお願いいたします。

会員の種類と年会費

一般会員 500円
(個人または世帯)
法人会員 1,000円
団体会員 500円×世帯数
(町内会・自治会等)

★企業・法人様で新たに会員になっていただける場合は本会までご連絡ください。(TEL85-7024)

会員募集の流れ



善意のご寄付ありがとうございました

2024年8月1日～11月30日現在

合計258,859円 (敬称略・順不同)

エス・ビー建材(株) / (株)一宮看板店 / 森 末治 /
木曽川商工会 女性部 / ユニー(株)アピタパワー木曽川
店 / (株)壱番屋 / 他匿名4件

(株)一宮看板店様は、「福祉に役立ててほしい」という思いから、定期的にご寄付をしてくださっているほか、「いちのみやボランティアフェスティバル」へのご協力をいただいております。いつもあたたかなご寄付・ご支援をありがとうございます。

災害義援金へのご協力ありがとうございました

お寄せいただきました義援金は、中央共同募金会や、被災都道府県共同募金会を通して、全額被災された皆さまへ届けられます。

※令和6年能登豪雨災害義援金 / ※令和6年能登半島地震災害義援金 /
令和6年7月大雨災害義援金

※の義援金は引き続き募集しておりますので、ご協力をお願いいたします。



第68回福祉善行児童・生徒表彰

地域の福祉活動やボランティア活動に積極的に参加し、明るいしあわせな地域社会づくりに寄与した児童・生徒62名を表彰しました。

表彰を受けられた皆さん、おめでとうございます。

なお、表彰された児童・生徒の氏名は、本会ウェブサイトをご覧ください。



138sk

検索



第76回赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール

入賞者紹介

児童生徒の社会福祉に対する理解を深め、「たすけあい」の心を育むため、市内在住または市内の小中学校に在学する児童生徒を対象にポスター、書道の作品を募集しました。集まった作品は名古屋芸術大学にて審査していただき、下記のとおり入賞者を選出しました。また、特賞・金賞の各部10点は、優秀作品として愛知県共同募金会へ推薦いたしました。ご応募ありがとうございました。
(敬称略・順不同)

ポスターの部

応募142点

特 賞



加藤 美亜
(浅野小2年)

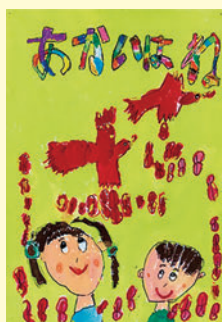


平光 芹那
(北方小6年)



稲垣 沙羅
(尾西第三中3年)

金 賞



遠藤 蒼仁
(木曽川東小1年)



柳田 夏歩
(今伊勢小6年)

愛知県共同募金会 銀賞



田中 瑠偉
(北方小4年)



平林 咲七
(木曽川中1年)



松原 朱音
(南部中2年)



宇佐見 紗奈
(尾西第三中3年)



神邊 咲希
(葉栗中3年)

銀賞

愛敬 蒼生(北方小2年) 丹羽 くの彩(小信中島小2年) 上田 涼葉(富士小2年) 横田 姫愛乃(木曽川東小3年)
名和 優真(木曽川東小3年) 浅野 百花(木曽川東小4年) 矢口 純美(貴船小5年) 野本 果蓮(起小6年)
高橋 杏実(木曽川西小6年) 小島 英佳(西成中3年)

銅賞

川合 莉乃彩(木曽川西小1年) 新美 日葵(木曽川東小1年) 小原 伊織(浅井南小1年) 高橋 菜々子(三条小1年)
中島 憲太郎(起小2年) 本間 公晴(北方小2年) 森田 栞吏(黒田小2年) 村川 来実(木曽川東小2年)
木村 光希(奥小3年) 石田 結愛(大和南小3年) 森 美琴(赤見小3年) 手島 瑞葵(大志小4年)
石川 柚花(浅井南小4年) 日比野 礼奈(中島小4年) 石川 実咲希(葉栗小5年) 市川 陽花(今伊勢小6年)
近藤 千咲(西成中1年) 樋口 優衣(木曽川中1年) 村上 心春(木曽川中3年) 村手 葵(西成中3年)

特賞

愛知県共同募金会
愛知県知事賞溝口 結望
(奥小5年)杉山 結衣
(開明小6年)水内 優希
(北部中3年)

金賞

愛知県共同募金会
金賞竹内 結香
(奥小4年)楠田 侑加
(千秋南小4年)愛知県共同募金会
銀賞愛知県共同募金会
銀賞横山 莉子
(奥小5年)森 煌莉
(愛知淑徳中1年)横山 眞子
(奥中2年)野村 勇翔
(葉栗中3年)石井 優太
(葉栗中3年)

銀賞

浅井 琴葉(浅井南小3年) 安藤 優(奥小4年) 則武 希侑(奥小6年) 伊藤 歩愛(今伊勢小6年)
 武野 愛生(木曽川東小6年) 河西 陸杜(葉栗中1年) 岩田 遥杏(葉栗中2年) 戸松 仔兵衛(葉栗中2年)
 大橋 歩華(尾西第三中3年) 石渡 姫沙(葉栗中3年)

銅賞

山田 麻央(大和東小3年) 森 奏輔(三条小3年) 真野 晃徳(神山小3年) 藤永 葵乃(丹陽小3年)
 松本 芽依(奥小3年) 高橋 結那(奥小4年) 梅村 紗季(丹陽小4年) 小木曾 珠璃(今伊勢小4年)
 森 保登(千秋小5年) 安藤 巧(奥小6年) 渡辺 真衣(奥小6年) 柳田 夏歩(今伊勢小6年)
 森岡 千紗(向山小6年) 戸松 優作(葉栗中1年) 大城 結菜(今伊勢中1年) 戸松 湊(葉栗中2年)
 石垣 青海(尾西第一中2年) 今村 希美(尾西第三中3年) 宇佐見 紗奈(尾西第三中3年)
 河西 未釉(葉栗中3年)



令和6年度 赤い羽根共同募金 中間報告

募金総額 **35,635,262円**(目標達成率:84.0%)
(2024年12月末時点)

「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに、今年度も赤い羽根共同募金運動を展開しております。たくさんの募金が集まっており、多くの方々からの温かい真心やご協力に心より感謝申し上げます。募金期間は3月31日までとなっておりますので、引き続きご協力をお願いします。



おめでとうございます

社会福祉大会が開催され、一宮市からは次の方々が表彰されました。

(敬称略・順不同)

令和6年度全国社会福祉大会

◇ 日時：2024年11月26日(火)・場所：浅草公会堂 ◇

◎全国社会福祉協議会会長表彰

・永年勤続
山内 和代

◎中央共同募金会会長表彰

・奉仕功労者
松浦 克式 / 春日井 敬子

第72回愛知県社会福祉大会

◇ 日時：2025年1月23日(木)・場所：ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館) ◇

◎愛知県社会福祉協議会会長表彰

・民生委員・児童委員
加藤 一代 / 大塚 彩恵子 /
馬場 京子
・社会福祉施設・団体役職員
森 尚雄 / 犬飼 智子 / 村手 章
岩田 寿史
・その他、社会福祉事業の進展に寄与した者
おもちゃ図書館「おもちゃの城」 / おもちゃ図書館「なかよし」

◎愛知県共同募金会会長表彰

・奉仕功労者
河村 雅世 / 柴垣 修 / 野々部 眞美子
松下 仁 / 林 ますみ



ボランティア活動をされている団体が受賞されました

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

尾西手話サークルにこにこ会

聴覚障害者の方との交流会や、手話の勉強会を行っている団体です。



ボランティア功労者に対する厚生労働大臣感謝状

一宮市点訳サークル ききょう

視覚障害のある方に点訳した広報紙などをお届けしている団体です。



ボランティア活動功労賞表彰(愛知県知事からの表彰)

ノムラアートクラブ

障害者の方へ絵画教室などの余暇支援活動を行っている団体です。



愛知県社会福祉協議会会長表彰

おもちゃ図書館「おもちゃの城」

おもちゃ図書館「なかよし」

浅井町、丹陽町にておもちゃ図書館の会場整備などを行い、子どもたちの遊びの場づくりに貢献している団体です。



皆さま受賞おめでとうございます。

認知症を知ろう! ~早期対応のすすめ~

第2回

前号では、認知症の主な症状や代表的な種類についてお話ししましたが、今回は、早期発見、早期対応の大切さについてお話しします。完治が難しいとされている認知症ですが、ほかの病気と同様に早く見つけて対応することが肝心です。誰もがかかる可能性のある病気ですので、ご自身や家族に思い当たることがあれば早期に相談、対応をはじめましょう。

2040年には **3人に1人が 認知症 か 軽度認知障害(MCI)**



昨年5月に開かれた国の認知症施策関係者会議の報告によると、2040年には65歳以上の高齢者のうち認知症が584.2万人(14.9%)、その前段階の軽度認知障害(MCI)が612.8万人(15.6%)となり、高齢者全体のおよそ3人に1人を占めるようになるということです。

もの忘れなど軽度の認知機能障害がみられるが、日常生活では支障が出ていない状態のこと

早期発見・早期対応のメリット

◇進行を遅らせることができます

アルツハイマー型認知症の場合、服薬により進行を遅らせることができるため、早い段階から治療を開始することが効果的だといわれています。

◇治療により改善する場合もあります

「正常圧水頭症」「慢性硬膜下血腫」など認知症を引き起こしている病気によっては、早期に手術することにより改善できるものもあります。

◇事前に今後の生活の準備ができます

症状が軽い段階から本人や家族が認知症の症状に向き合い、話し合うことで、今後の生活への備えをすることができます。また、かかりつけ医や地域包括支援センターなどに相談し生活環境を整えることで、認知症による生活上の支障を軽減することもできます。



早期発見のための目安 こんなことはありませんか？

- | | |
|--|---|
| ☐ 同じことを何度も言ったり聞いたりする | ☐ ささいなことで怒りっぽくなる |
| ☐ つい最近の出来事や今しようとしていたことを忘れる | ☐ 料理や掃除、計算など以前できていたことにミスが増える |
| ☐ 置き忘れ、しまい忘れが増え、いつも探し物をしている | ☐ 会話やテレビ番組の内容が理解しづらくなる |
| ☐ 物の名前、知っている人の名前が出てこなくなる | ☐ 以前はあった興味や関心がなくなる |
| ☐ 約束の日時や場所を忘れたり間違える | ☐ 着替えやお風呂など身だしなみに気を使わなくなる |
| ☐ 慣れた道や近所で迷うことがある | ☐ ふさぎこみ何をするのも面倒になる |

今までと違う?と感じたら、早めに相談しましょう!

第3回へつづく





ボランティア紹介リレー

第34回

今回は『irie fam』さんからの紹介で、
『子育てグループHiro*Lino(ひろりの)』さんをご紹介します！

「子育てを楽しく！」をモットーに市内で活動している「子育てグループHiro*Lino」さん。代表の鈴木さんと、前田さんにお話をうかがいました！

「子育てグループHiro*Lino」とは？

子育てを一宮で楽しむことを目的に始めました。一宮市の中心部から遠いところに住んでいて、保健センターで開催されている育児講座などに、泣きわめくかもしれない我が子を連れて行くのはハードルが高い、もっと気軽に遊べる場所がほしい！と思い2017年に団体を立ち上げました。でも、ママたちは育休で収入が減っている状態なので遊びに行くにしても節約したいですね。金銭的なハードルで参加を諦めてほしくないと思ったので、できるだけ低料金で開催しています。参加費を抑えるために、ダンスや料理など、お互いの得意なことを生かしてギブアンドテイクのスタイルで始めました。お花や手芸、カメラなど、講師になるママたちも輝ける場です。そんな風にいろんな人とつながりができて今に至ります。

どんなイベントを開催していますか？

①まるあそび

毎月第3土曜日の午前中に造形あそびのイベントを開催しています。「まる」ごと楽しむ、なんでもやってOKの「まる」です。絵の具やトイレットペーパー、廃材などさまざまな物を活用して遊んでいます。家でやったら汚れるのでやめてほしい遊びも、みんなでだったら不思議とできます。片付けもストレスではないし、子どもたちもお掃除対決してくれます！

②優しいヨガ

月に一度、先生に来ていただいてヨガ教室を行っています。普段は大人向けの内容ですが、お子さんも一緒に来ていただけます。長期休みなどには、子どもと一緒に体を動かせるものもあります。

③親子クッキング

親子で料理をするほか、子どもだけでも料理をします！何を作るかも子どもたちが考えて、できるだけ大人は手を出さずに見守ります。みんな野菜を切るのが好きでたくさん切ってしまうので、具たくさんのお味噌汁が完成したり…（笑）



やりがいとは？

子どもの成長を見られることが嬉しいです。自分の子どもが他の子にお世話されていたのに、いつの間にか逆にお世話する側になっています。親同士の交流もできて、先輩パパママから学べて、意識も変わってきます。遊びを通じて、いろんなことが見えると思います！



みんなで見守るクッキング

最後にひとこと！

1人ではできなかったことを一緒にやってくれる仲間がいて心強かったので、それを近くの親子にも知ってほしいです。自分が楽しくしているだけですが、それが誰かの助けになれば、楽しんでもらえたら嬉しいと思います。ぜひ気軽に遊びに来てくださいね！

「子育てグループHiro*Lino」さんSNSリンク⇒<https://lit.link/hirolino>

※最新情報はリンクからインスタグラムをご確認ください。



おすすめ福祉の本

ふしぎなともだち



図書館で借りることができます。

たじま ゆきひこ/作 くもん出版

『『れいぞうこ かってに あけたら あかん。れいぞうこ かってに あけたら あかん』しぎょう式の日、たいいくかんのろくぼくにのぼってひとりごとをいっている子がいて、びっくりした。だれも気にしていないことにもびっくりした。』不思議だなあ、と感じる自閉症の子の言動が、転校生の男の子の目線で優しくあたたかく描かれています。大人になり、島で働くようになるまでのゆうすけとやっくんの姿を通して、障害の有無を超え、普遍的な人間の心の交流が感じられる絵本です。

すろーぷ にインタビュー！

皆さんは「障害者就業・生活支援センター」を知っていますか？
障害のある方が住み慣れた地域で安心して働いたり、生活をしていくために、就業・生活上の相談や助言などを総合的に行う機関です。今回は、新入職員の2人が一宮市大和町にある「すろーぷ」へインタビューに行きました！



■すろーぷって何をするとところ？ Q1

障害のある方の就労や生活の相談、企業の障害者雇用相談などに応じる地域の相談窓口です。

■どんな人が相談できるの？ Q2

- ・一宮市・稲沢市にお住まいで、障害のある方、難病のある方で就労について相談のある方
- ・障害のある方を雇用している企業や、これから雇用を考えている企業

■どのくらいの人が利用しているの？ Q4

現在すろーぷに登録している方は
およそ900名！
一度登録をすれば期限はなく、困ったときはいつでも相談することができます。

■具体的にどんな相談にのってくれるの？ Q3

就職したいけど、どこの会社が自分に合っているのだろう？



お話を聞きながら、一人ひとりの得意なことや必要な配慮を整理します。見学や実習に同行し、就職活動をサポートします。



もっと障害のある方の採用を進めたい！



いろいろな障害者雇用の事例を紹介し、仕事の切出しをサポートします。



■たくさんの方が相談者として登録されているなかで、一人ひとりに合った就労先を見つけることはできるの？ Q5

就職された方の1年後の定着率は
約90%です！
皆さんが長く働くことができるように、就労前に体験実習を行ったり、就労先の企業に対して相談者の方の特性や良いところなどをしっかりと伝えすることで、企業とのマッチングを丁寧に行っています。

すろーぷは就職を希望される方と企業を繋ぐ架け橋であり、“つながり続ける支援”を受けられる心強い味方のような存在であると感じました。また、就職を希望される方だけでなく、就職した後も困ったことがあればいつでも相談することができ、就職から生活に至るまで幅広く手厚いサポートが行われているということを知りました！

【問合せ】

尾張西部 障害者就業・生活支援センター すろーぷ
〒491-0931 一宮市大和町馬引郷裏41
ハイツノダコウ102

TEL85-8619



生活福祉資金貸付制度のご案内

支援を受けることにより自立した生活ができると認められる低所得世帯、障害者、高齢者の属する世帯を対象に、資金貸付の相談を行っています。本貸付制度は資金の種類ごとに要件・条件があります。詳細については、本部(Tel85-7024)へお問い合わせください。

※貸付には審査があります。希望するすべての方にお貸しできるものではありません。

日常生活自立支援事業のご案内

福祉サービスを利用したいけれど、どこへ相談したらいいの？

ものの忘れが多く、通帳や印鑑、大事な書類などをよくなくしてしまい困っている。



市役所から書類が来ても手続きの仕方が分からない。

お金のやりくりがうまくできず、いつも支払いが滞ってしまう…。

認知症や知的障害、精神障害があり、日常生活に不安を抱える方のために、下記のようなお手伝いができます。

支援内容	利用料
★福祉サービス利用のお手伝いをします ・福祉サービスの利用に関する相談・情報提供 ・福祉サービスの利用料の支払い手続き	1回1,200円 *生活保護受給者は無料
★日常のお金の出し入れをお手伝いします ・年金、福祉手当の受領に必要な手続き ・病院への医療費、税金、社会保険料、公共料金等の支払い手続き ・生活に必要な預貯金の出し入れ等の手続き	
★大切な書類等をお預かりします ・銀行の貸金庫で通帳や印鑑、証書などの大切な書類を保管します ※書類預かりのみのサービス利用はできません	月額250円

【問合せ】本部 日常生活自立支援事業担当 Tel85-7024

車いす
使用の職員
発信

車いすといっしょに



第24回「安全な移動のための備え」

外出にあたっては施設への行き方をただ知るだけでなく、車いすでも同じようにたどり着けるかということも考えなければなりません。以前コンサートに出かけた際、地下鉄の駅から地上に出るためのエレベーターがちょうど工事中ということがあり、かなり焦りました。万一の場合に備えて、ルートを複数調べてから出かけようとするきっかけになった出来事です。

いっぽう、移動には下調べが難しい要素もつきものです。道路の傾斜や段差の感覚など、その場に行ってみないと分からないことも少なくありません。横断歩道の歩行者信号の時間が短く、大慌てで渡ったこともあります。

また、暗い時間帯の移動は前方や足もとが見えづらいぶん、自動車・自転車のライトや通行音を意識しながら慎重に進みます。それでも、見落としなどのリスクを完全に無くすことは困難です。自力で安全に移動するための心がけが大切だと感じました。(小鹿)



広報ボランティアのページ

●担当ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

20年を超えてボランティアしてみても 二つの“やる”と三つの“ために生きる”

広報一宮の市民編集委員を数年間やった後、2013年2月から一宮市社会福祉協議会「広報ボランティアのページ」で記事を書くようになりました。早いもので11年も経ってしまいました。

私のNPO活動は、2003年3月から始まりました。47歳で退職し、48歳から大学で学び始め、49歳からNPO活動を始めました。当初は、一宮市内でボランティアをする人は少なく、活性化していませんでした。

そんな中で、新たな動きとして一宮市ボランティアグループの会の活動が始まりました。男女が半々の会員数が約50名、60代の退職者が中心の団体でした。

20年間各種のNPO活動を行いました。現在、二つの“やる”と三つの“ために生きる”をPRしています。二つの“やる”とは、「楽しくやる」、「自分のできることをできる範囲内でやる」です。三つの“ために生きる”とは、「自分のために生きる」、「人（家族）のために生きる」、「社会のために生きる」です。

よりよい地域社会になることを心から願い、記事掲載の最後とします。ありがとうございました。（日置）



設立20周年記念交流会（2023年11月撮影）
NPO法人一宮ボランティアグループリーダーの会

地域の名所 たくさん探したい!!

昨年、一宮市のお隣り稲沢市のそぶえイチョウ黄葉まつりを見学させていただきました。たくさん的人出があり、おおいに賑わっていました。祖父江は銀杏で有名ですね。私も久しぶりにイベントを見させてもらい、楽しい気分になりました。

一宮市にもまだまだたくさんのイベントや祭り、観光スポット、史跡などがあると思います。今回、地元に着いたまつりを体験させてもらえたことで、一宮市にもたくさんあるであろう小さな名所を探索したいと思い立つに至りました。

私も40年以上一宮市に住んでいますが、まだまだ私の知らないことがたくさんありそうで今からワクワクしています。

いろんな場所を巡りながら、そこに関わるボランティアの人たちとも交流できたらいいなと思っています。

今回の祭りに参加して新たな楽しみを見つけ出すことができました。皆さんも一緒に一宮の魅力を楽しんでいきましょう。（岩下）

★車いすの貸し出し

ご利用ください

対象者：身体に障害のある方、けがをされた方など
一時的に利用が必要な方にお貸しします。

利用料：無料

貸出場所：本部・尾西支部・木曽川支部・大和事務所



子ども用



大人用

ボランティアセンターにご登録を!

登録すると、ボランティアに関する情報発信のほか、以下の特典もあります

★会議室の利用

尾西支部・木曽川支部・大和事務所の会議室やボランティア室が利用できます。

★用具の貸し出し

高齢者疑似体験セットなどの福祉用具や、レクリエーション用具、マイクセットなどが利用できます。

貸出
用具の
一部



ボッチャ



ラダーゲッター



ニュールーレットゴルフ

あなたの力を
貸してください!!

ボランティアさん大募集

●ちょこボラ協力会員

自分のできる範囲で、困っている高齢者に、“ちょこっと”したお手伝いをしてみませんか?

企業・法人会員も募集中

●一芸ボランティア

施設やサロンなどで、歌や踊り、手品などの披露や、小物作りの指導などを行っていただける方を募集中

●おもちゃ図書館運営ボランティア

市内に2か所(浅井町、丹陽町)あるおもちゃ図書館で、受付やおもちゃの作成などをしていただける方を募集中

【問合せ】本部 Tel.85-7024

?応募!クイズ

図書カード
¥1,000

認知症の前段階である軽度認知障害のことをアルファベット3文字で何というでしょう。ヒント11ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします! ハガキもしくは下記応募フォームのいずれかでご応募ください。ハガキの場合は①クイズの答え②本紙に対するご意見・ご感想③住所④氏名⑤年齢を明記ください。

【2025年2月28日(金)まで(消印有効)】

〒491-0858 一宮市栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「いちのみやの社会福祉」編集係あて

応募フォーム

<https://forms.gle/RHSUK1MTv9bH1qYE6>

10月号クイズ当選者発表(応募総数108件)

加藤様(向山) 丹羽様(奥町) 吉田様(萩原町)

坂部様(葉栗) 高橋様(萩原町)

クイズの答え:防災



市内の福祉・保健・
医療関係者の皆さまへ

広告募集中

【掲載枠】1枠 縦55mm×横80mm

最大4枠

【掲載料】1回1枠 20,000円

複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(Tel:85-7024)まで



本紙は目の不自由な方のために音声版・点字版広報も発行しております。ご希望の方は本部まで

ウェブサイト <https://www.138sk.org>